

# ふあいの ひろば



寺の門をくぐると正面にお堂  
があります。中心に不動明王が  
祠つてあり、その左側に白い象  
の上に乗った普賢菩薩がありま  
す。象が横向きなのでお釈迦様  
の脇侍として作られたのでしょ  
う。辰年と巳年生まれの人を守  
る、長生きの仏様と言われてい  
ます。

仏像の底に付けられた木片に  
は「文和三年法眼院廣」と書い  
てあります。院廣は院派いんはと呼  
ばれる流派の最後の仏師で約六百  
年前の作といわれます。

江戸時代（寛政年間）に、台  
座が宇都宮の仏師によって修  
理されました。指が欠けてい  
るなど傷みもありますが、口  
元や目元はとても温和な表情  
の仏像です。



▲台座とその下の白象



大通り4丁目  
黒崎貞彦さん

もくぞうふげんぼさつぎぞう  
宝蔵寺の木造普賢菩薩坐像

昭和50年3月25日・市指定文化財

文化財ウオッチング